



新会長

全国鐵構工業協会青年部会

中国ブロック

光村 圭介氏



みつむら・けいすけ 1977年8月6日生まれ。広島市西区出身。02年法政大学経済学部卒業後、デベロッパーに3年勤務し、05年ミツヤ工業入社。工場内勤務を経て営業や積算を担当した。16年常務に就任。20年から広島県鉄構工業会・青年部会の幹事を務める。家族は夫人と子ども2人。

「『継続は力なり』の精神で」

青年部に入会して3年。この2年間はコロナ禍の影響もあって事業への参加期間は短いが、広島県鉄構工業会・青年部会の川野法幸前部会長を幹事としてサポートしたことから、「会員間の横のつながりの重要性を感じた」とし、「責任感を持って取り組みたい。事業運営での経験を多くの会

員に還元し、同時に自身の人間的な成長にもつなげたい」と意欲を見せる。会長承諾には全構協副会長を務めた父・哲也氏

「と胸中を明かす。事業方針ではウイズコロナ対策を取りつつも対面を重視。具体的には、高炉メーカーや関連企業のほか、大手ファブの工場見学、最新機器のデモンストラーションを計画している。交流や懇親にも注力し、「刺激を与え合える関係を築き、記憶に残る事業をする」とその目的を述べる。

役員会の各県開催も企画中だ。「父のモットーである『継続は力なり』の精神で粘り強く事業を推進したい」と抱負を語った。(佐藤直人)